

## 座布団

【温かな心持ちで日々過したいと思う。子どもたちもそうならいい学校になる】

相田みつをさんの言葉です。

### おてんとうさまの ひかりをいっぱい吸った あったかい 座ぶとんのような人

私はこのような人になりたいといつも思っています。人の心を穏やかに、温かくできるような人にあこがれています。どうしたらそういう人になれるんだろう、と考えていましたが、なかなかその答えを見つけられずにいました。

先日のことです。私が車で学校に来る途中でした。横断歩道で、1人の若者が車の途切れを待っていました。反対車線の車が止まったので、私も止まり、その若者を横断させてあげました。20歳くらいの男性でした。

彼は、私にお礼の会釈をし、そして反対車線の車の運転手にもお礼の会釈をして渡っていききました。

横断歩道で歩行者がいたら止まるのは運転手としては当然のことですし、止まった運転手にお礼をするなんていう決まりはありません。しかし、その若者は爽やかに、そして気持ちよく笑顔で会釈をしていきました。私の心はとても温かくなりました。

その時、私はハッとしたのです。その若者は間違いなく座ぶとんのような温かい心を持った人だと気づいたからです。私はずっと考えてきたことの答えをその若者から教えていただきました。それは、お天道様の光をいっぱい吸った座ぶとんなような人になるためには、何か特別なことをすることではなく、人にしてもらったことに素直に感謝の意を表すことであり、決まりだからといってするのではなく、自分の心に正直に行動することなのです。

「人を幸せにする者しか幸せになれない」といいます。この若者はきっと幸せな毎日を過ごしているのでしょう。私の心をあったかい座ぶとんのように温かくしてくれたのですから。

皆さんも、この夏休み人の心を温かくするような日々を送ってください。そのことが、皆さん自身の生活を豊かにすることになると思います。